

6 地域包括ケアの推進

(1) 地域包括ケアの推進

① 重層的支援体制整備事業

(令和8年度予算額 29,793 千円)

対象者の属性を問わない相談支援などによる複合・複雑化した支援ニーズを抱える地域住民やその家族に対する包括的な支援を行います。これにより、個人や家族が抱える様々な困りごとを受け止め、必要な支援につなげる包括的な相談支援体制の整備を推進します。

包括的相談支援事業者や関係機関等との連携体制の構築を図るための多機関協働事業について、令和4年度から(福)鶴岡市社会福祉協議会に委託し、令和6年度まで移行準備を行い、令和7年度から本格実施しています。多機関協働事業、アウトリーチを通じた継続的支援事業、参加支援事業の3つの事業を一体的に実施しています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
多機関協働事業	3地区	7地区 (新規4地区)	市内全域 (新規4地区)	市内全域
重層的支援会議	－	－	3件	12件(延)
支援会議	8件	8件	9件(延)	6件(延)

② 孤独・孤立対策事業

(令和8年度予算額 649 千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人との交流が薄れたことで深刻化した孤独・孤立問題に対応する取り組みを推進します。(令和4年度より実施)

《令和4年度実績》

内閣官房「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム形成事業」取組み団体として、次の取り組みを実施しました。

- ・「人と人とのつながりに関するアンケート調査」による実態把握
- ・官民連携プラットフォーム準備会(R5.3.24開催)

《令和5年度実績》

内閣官房孤独・孤立対策による「つながりサポーター」養成に関するカリキュラム等検討会と連携し、次の取り組みを実施しました。

- ・内閣府による「つながりサポーター」養成に係る検討会に参加
- ・「つながりサポーター養成講座」を試行的に実施
- ・孤独・孤立対策チラシによる普及啓発

《令和6年度実績》

令和4～5年度の取組みを踏まえ、次の取り組みを実施しました。

- ・「つながりサポーター養成講座」の内容を情報発信(対象:民生委員児童委員全員対象研修会)
- ・5月の孤独・孤立対策強化月間で関係課や関係機関と連携した普及啓発の実施

《令和7年度実績》

- ・5月の孤独・孤立対策強化月間において、関係課や関係機関と連携した普及啓発の実施
- ・山形県官民連携プラットフォームキックのオフイベントに参加
- ・山形県官民連携プラットフォームの一環として、身近な相談窓口や支援団体を紹介する「やまがたつながりポータルサイト」に部内関係課および関係機関の相談窓口を掲載

(2) 地域医療の推進

① 鶴岡まるっと地域医療 ～地域医療市民勉強会～

(令和8年度予算額1,682千円)

令和3年度に策定した「鶴岡市地域医療市民アクションプラン」における市民アクションの実践の場として、市民の皆様より地域医療について理解を深め、関心を持ってもらうとともに、市民、医療関係者、行政が交流し、ともに学び考える場として開催する。

《令和7年度実績》

実施状況		出席者数
第1回	日時：令和7年12月11日(木)19:00～20:30 会場：鶴岡市勤労者会館1階大ホール 内容：テーマ どうなる？どうする？鶴岡の医療。(対談形式) 対談ゲスト：鶴岡市立荘内病院医師 外科系診療部長 坂本薫 氏 真島医院医師 真島英太 氏 ファシリテーター：株式会社瀬尾医療連携事務所 瀬尾利加子 氏	56名
第2回	日時：令和8年1月24日(土)15:00～17:00 場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室 内容：テーマ 私たちの地域医療アクション会議～医療者・市民・行政がともにアクションを起こす“最初の一步を見つける”。(ワークショップ形式) ファシリテーター：株式会社瀬尾医療連携事務所 瀬尾利加子 氏	45名
第3回	日時：令和8年2月19日(木)18:30～20:30 場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室 内容：テーマ あなたが「絶対行きたい！」と思う新しい“まるっと”を考えよう。(ワークショップ形式) ファシリテーター：株式会社瀬尾医療連携事務所 瀬尾利加子 氏	37名

② ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助

(令和8年度予算額0千円)

座位の保持が困難なため、ストレッチャーによる移送を必要とする市民のためにストレッチャー対応タクシーの安定した運行を支援し、医療機関等への移送体制の確保を図ります。

対象者：鶴岡市内に事業所があり、ストレッチャー対応タクシーを運行する事業者

補助額：市内を発着地のいずれかとする補助対象タクシーの運行回数に1,000円を乗じた額
(上限25,000円/月)と車両維持にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数	3	3	3	3	2

※令和7年度で廃止。令和8年度よりストレッチャー対応タクシー運行支援補助金事業を施行。

③ 私的二次救急医療対策補助

(令和 8 年度予算額 5,850 千円)

救急医療体制の確保及び充実のため、病院経営に寄与し、救急医療を必要としている市民が、身近な地域で安心して医療を受けられる体制の維持を図ります。

対象者：鶴岡市内に所在する私的二次救急医療機関（鶴岡協立病院、産婦人科・小児科三井病院）

補助額：救急搬送により受け入れた傷病者の人数に 13,000 円を乗じた額（上限 5,850,000 円/年 450 人）と救急医療業務にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
傷病者受入人数	661	486	403	243
補助額（円）	6,500,000	6,318,000	5,239,000	3,159,000

※令和 3 年 4 月から施行

（３）在宅医療・介護連携の推進

① 在宅医療・介護連携推進事業

(令和 8 年度予算額 21,252 千円)

医療と介護の両方が必要な状態になっても、自宅等住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けられるために、地域における医療・介護の関係機関が効果的に連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供体制の推進を図ります。（事業委託先：鶴岡地区医師会、鶴岡市立荘内病院）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療地域資源マップ等の情報整備を図り、関係機関へ共有します。

《令和 7 年度実績》

- ・ ほたポンデータ提供・活用推進（年 1 回更新）・訪問診療等実態調査及び分析（年 1 回）

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出

地域の医療・介護に関する課題を抽出し、課題解決に向け関係機関と協働し対応策を講じます。

《令和 7 年度実績》

- ・ ほたる合同ミーティングや各種意見交換の場を通しての在宅医療・介護連携に関する課題の抽出

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

24 時間対応の在宅医療提供体制や、庄内地域の入退院調整ルールを活用、および庄内プロジェクトによる質の高い緩和ケア提供により、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を図ります。

《令和 7 年度実績》

- ・ 南庄内在宅医療を考える会（年 2 回） ・ 薬剤師とケアマネジャーとの意見交換会（年 1 回）
- ・ 地域 NST「南庄内・たべるを支援し隊」の活動支援（定例会議 毎月） NST 新規申込み 14 件
- ・ 歯科医師・歯科衛生士とケアマネジャーおよび通所介護事業所との交流会（年 1 回）

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

Net4U や地域連携パス等の情報共有ツールの活用を推進し、医療・介護関係者の情報共有を支援します。

《令和7年度実績》

- ・ 医療介護連携様式の管理および利活用の促進
- ・ 情報共有 ICT ツール「Net4U・Note4U」の運用主体および運用支援、利活用促進に関する活動
- ・ ショートステイ空き情報提供（毎週更新）
- ・ 医療機関、歯科医院、調剤薬局の長期休暇期間中の営業状況の把握と情報提供
- ・ 庄内南部地域連携パス推進協議会の運営
- ・ 庄内医療情報ネットワーク推進協議会の開催（年2回）および特別講演会の開催（年1回）

（オ）在宅医療・介護関係者に関する相談支援

在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取り組みを支援します。

《令和7年度実績》

- ・ 総合相談窓口業務（訪問歯科診療相談窓口、地域一体型 NST 窓口機能も含む）
- ・ 庄内病院地域医療連携室における入退院支援

（カ）医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者を対象とした医療と介護の多職種連携研修会を開催します。

実施状況	
令和 3年度	研修会2回開催 延べ参加人数 79人 第1回 R3年6月16日（水） テーマ：「ウィズコロナの環境と訪問看護」 講師：訪問看護ステーションとて 管理者 鈿持 朝子 氏 第2回 R3年10月20日（水） テーマ：「重篤な病を持つ人との話し合いをどう進めるか～実際に ACP（人生会議）を進めるコミュニケーション～」 講師：一般社団法人 MY wells 地域ケア工房代表 神谷 浩平 氏
令和 4年度	研修会3回開催 延べ参加人数 124人 第1回 R4年6月15日（水） テーマ：「庄内病院 NST※の奮闘記録 18年の歩み」 講師：庄内病院 NST 3名 第2回 R4年10月19日（水） テーマ：「緩和ケアの基本に立ち返るコミュニケーション」 講師：一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏 第3回 R5年2月15日（水） テーマ：「医療的ケア児に関わる歯科医師の役割」 講師：大久保歯科医院（寒河江市） 副院長 大久保 明 氏 ※NST…栄養サポートチーム
令和 5年度	（鶴岡地区医師会地域医療連携室はたる開催分） 医療と介護の連携研修会 R5年11月29日 参加者 69名 テーマ：「医療と介護の連係の現状について語ろう！」～課題解決にむけたワーキング～」 講師：山形県立保健医療大学 看護学科教授 菅原 京子 氏 はたる多職種研修会 R6年2月9日 参加者 107名 テーマ：「ヒアリングフレイル ～高齢者の耳を学ぼう～」 講師：聴脳科学総合研究所 中石 真一路 氏 （庄内プロジェクト開催分） 研修会3回開催 延べ参加人数 167人 第1回 R5年6月21日（水） テーマ：「働いているときに災害が起きたら」 講師：庄内病院 災害看護専門看護師 木村 晃一 氏 第2回 R5年10月18日（水） テーマ：「エビデンス×経験×法律で語る「死亡診断・看取りの作法 ～死亡診断・お看取りの際のポイントを知ろう～」」 講師：一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏 第3回 R6年2月21日（水） テーマ：「結構役立つ口腔ケア多職種連携がカギ」 講師：徳島県立中央病院 歯科口腔外科部長 山森 郁 氏

実施状況	
令和 6年度	(鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる開催分) 医療と介護の連携研修会 R6年11月7日 参加者 136名 テーマ:「本人・家族が望む暮らしを支えるために」～スムーズな支援のために私たちができること～ 講師・ファシリテーター:山形県庄内保健所 所長 蘆野 吉和 氏 地域一体型 NST「南庄内・たべるを支援し隊」・ほたる多職種 合同研修会 R7年3月24日 参加者 107名 テーマ:「人生最終段階の食支援『お食い締め』」 講師:愛知学院大学健康科学部 教授 牧野 日和 氏 (庄内プロジェクト開催分) 研修会3回開催 延べ参加人数 174人 第1回R6年6月19日(水) テーマ:「在宅医療における認知症診断の重要性」 講師:庄内病院 神経内科医師 丸谷 宏 氏 第2回R6年10月16日(水) テーマ:「フェーズフリーで行う新しい緩和ケア」 講師:一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏 第3回R7年2月5日(水) テーマ:「せん妄への対応・ケアについて」 講師:国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科医師 小川 朝生 氏
令和 7年度	(鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる開催分) 医療と介護の連携研修会 R7年11月10日(月) 参加者 126名 テーマ:「人生会議:ACPを熱く語る!～あなただったらどうする?～」 講師・ファシリテーター:鶴岡地区医師会理事・前庄内保健所長 蘆野 吉和 氏 地域一体型 NST「南庄内・たべるを支援し隊」・ほたる多職種 合同研修会 R8年3月24日(火) 参加者 25名 テーマ:「病院と地域で“つなぐ”リハビリテーション栄養ケア」 講師: 坂総合病院リハビリテーション科科长(医師) 藤原 大 氏 ほたる多職種研修会 延べ参加人数 125名 テーマ:「高齢者の看護について学ぼう」 講師:鶴岡市立湯田川リハビリテーション病院 認知症看護認定看護師 兼子 美智子 氏 第1回R7年7月3日(木) 第2回R7年7月15日(火) (庄内プロジェクト開催分) 研修会3回開催 延べ参加人数 183人 第1回R7年6月18日(水) テーマ:「『献便』から始まる 鶴岡“ヘルスシェア・コミュニティ”の実現に向けて」 講師:メタジェンセラピューティクス(株) CEO 中原 拓 氏 第2回R7年10月22日(水) テーマ:「臨床倫理と緩和ケア～なぜ今、倫理が大切なのか～」 講師:一般社団法人 MYwells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏 第3回R8年2月4日(水) テーマ:「化学療法について」 講師:緩和ケア認定看護師 川井 望紗都 氏

(キ) 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護に関する普及・啓発を図ります。

《令和7年度実績》

- ・ 市民向け在宅医療・介護連携に関する研修会やイベントの企画・運営、共催
- ・ 地域で開催される健康、医療、介護等のイベントへの参加
- ・ ほたる HP や Facebook ページ、ほたるだより等での各種情報提供
- ・ つるおか健康塾(年5回) ・ ほっと広場(がん患者と家族の会)(年4回)

- ・ ぷちたみ（ストーマ患者と家族の会）（年 2 回） ・ 緩和ケア市民公開講座（年 1 回）
- ・ 出張講演会（年 3 回） ・ ドクター出前講座（年 3 回）

（ク）在宅医療と介護連携に関する関係市町の連携

二次医療圏内にある病院間等との話し合いを行い、広域連携が必要な事項について検討します。

《令和 7 年度実績》

- ・ ほたる合同ミーティング（年 6 回）
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業関係機関会議（年 3 回）
- ・ 庄内地域難病対策協議会への参加（年 1 回）
- ・ 庄内地域における在宅医療・介護広域連携推進のための連絡会議への参加（年 1 回）

（４）地域支え合いの推進

① 生活支援体制整備事業

（令和 8 年度予算額 48,917 千円）

支え合いのある地域づくりを支援するため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を 1 名（計 11 人）配置し、住民・ボランティア・NPO・社会福祉法人・民間企業等の多様な主による見守り・買い物・移送・サロンなど多様な取り組みのコーディネートを行い、地域の実情に合わせた互助の仕組みづくりを進め、高齢者等の介護予防・生活支援サービス提供体制の推進を図ります。また、高齢者や要支援者等を支える人材の育成を目的に「担い手養成研修会」を開催します。

（ア）生活支援コーディネーター活動実績

生活支援コーディネーターが、会議や通いの場など地域に出向き、地域資源や生活課題の把握をし、必要なサービスとのマッチングや新たな地域の支え合い活動の創出など、支え合いのある地域づくりを支援しています。

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
新たな地域資源の発見（件）	50	33	35	34	32
新たな地域の支え合い活動の創出（件）	29	21	17	19	13
広報物の作成（件）	116	89	121	169	138
情報発信の取り組み（件）	451	436	1,027	588	742

＜令和 7 年度 新たな地域の支え合い活動の創出＞

内容	件数
通いの場	10
地域食堂	1
その他	2

（イ）地域の支え合い活動の可視化（見える化）

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し支え合いの地域づくりについて周知しています。

【地域支え合い情報誌「和と輪 つるおか」の発行】

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
発行号	第 2 号	第 3 号	第 4 号	第 5 号	第 6 号
発行部数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

(ウ) 情報発信及び発表会（見せる化）

「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催します。

《令和 7 年度実績》

○鶴岡市地域支え合い活動研修会

実 施 日：令和 7 年 11 月 22 日（土）13:30～16:00

会 場：出羽庄内国際村 国際村ホール

参加者数：60 人

内 容：講演 支え合いのまちづくり

～自分らしく生きるために 食べる・動く・つながる～

講師 山形大学 Well-Being 研究所 行動科学部門助教 清野 諭 氏

(エ) 担い手養成研修

対象者：一般市民

内 容：担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、同行訪問

《令和 7 年度実績》

実施状況		修了者数
市開催	実施期間：令和 7 年 7 月 30 日(水)、7 月 31 日(木)、8 月 29 日(金) 通いの場見学：令和 7 年 8 月 1 日、6 日、8 日、19 日、22 日、25 日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる他	12 人

(オ) 地域支え合い型移動支援講座

少子高齢化や高齢者世帯の増加に伴い、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていくために地域で支え合う仕組みづくりが重要となっています。地域での活動を担う方を対象に、移動支援の知識や手法、技術を学び、地域での支え合いの活動につなげることを目的に開催します。

《令和 7 年度実績》

実施状況		出席者数
第 1 回	日時：令和 7 年 8 月 28 日(木)13:30～15:30 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3 階 大会議室 講義：移動支援について（制度と仕組み等） 講師：やまがた福祉移動サービスネットワーク 代表 本間 博 氏	39 名
第 2 回	日時：令和 7 年 10 月 8 日(水)13:30～16:00 会場：出羽庄内国際村 国際村ホール 講義：全国事例からも学ぶ「移動・外出支援活動立ち上げのプロセスと課題解決の手法」 講師：やまがた福祉移動サービスネットワーク 代表 本間 博 氏 活動発表団体：はっぴいサポート（庄内町） 支え合い「結の会」（鶴岡市）	43 名

(カ) 鶴岡市地域ケア推進会議

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

《令和7年度実績》

実施状況	
市開催	開催なし